

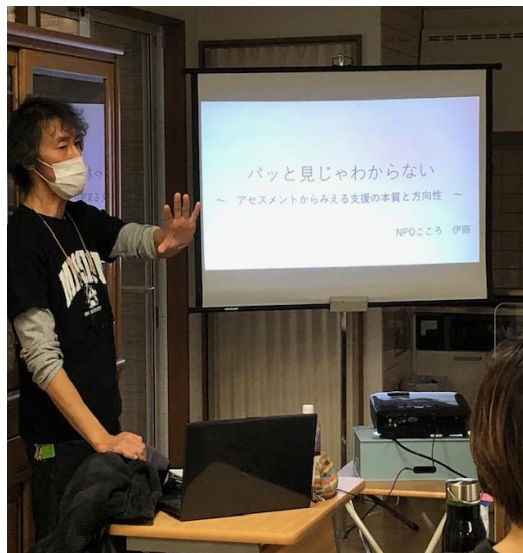


職員専門研修のご報告

地域活動支援センターわかば 松田 里佳子

12月14日(水)、特定非営利活動法人こころ理事長 伊藤竹彦様に講師をお引き受けいただき、『利用者支援の柱～ニーズの正しい捉え方～』をテーマにした講義とグループワークによる研修を実施いたしました。伊藤様の分かりやすい説明と熱いメッセージによる講義と、事業所の異なる職員で構成されたグループワークでの意見交換で3時間があっという間に感じられました。

研修では、本人主体の大原則を確認した上で、アセスメントで生活全体を客観的かつ総合的に考察することの大切さ、「ニーズ」とは利用者の表面的な言動ではなくアセスメントにより抽出される生活全体の解決すべき課題であるということ学ぶことができました。また、福祉専門職としての自覚と誇りを持って利用者支援にあたる責任を改めて認識し、身の引き締まる研修となりました。



今年度、木の芽福祉会では法人事業計画の中で「職員育成」の重要性を挙げ、職員の学びの機会を保障することに努めています。今回参加した多くの職員からも学びの多い研修だったという感想と研修機会の継続を希望する声が届いていますので、今後もこのような研修を実施していきたいと思えます。

講師の伊藤様、ありがとうございました。

